


## むさしこども園の取組みと概要

園名	むさしこども園	法人種別	社会福祉法人		類型	幼保連携型	所在地	大分県国東市（人口約 28,000 人）						
園長名	まさもと ひでたか 正本 秀崇	利用定員	130名	<table border="1"> <tr> <td>1号</td> <td>70名</td> </tr> <tr> <td>2号</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>3号</td> <td>45名</td> </tr> </table>	1号	70名	2号	15名	3号	45名	職員数	31名 園長1名、副園長1名 主幹教諭2名、給食4名 保育教諭21名、バス2名		
1号	70名													
2号	15名													
3号	45名													
沿革	S25年9月 武蔵町保育園設置認可 S46年4月 むさし幼稚園設置認可 H20年4月 認定こども園認定 H27年4月 社会福祉法人へ統合	法人理念	●地域貢献を目指す ●保育目標 『すこやかな体ゆたかな心を育てる』											
地域の特徴	<p>当園のある町は、待機児童がいる町ではありません。認定こども園を目指したのは、町の子育てシステムに当園が応えられなくなりつつあったことです。町の子育てシステムは、中学校1校、小学校2校、公立保育所1園、私立幼稚園・保育所（当園）であり、小学校に就学する子ども達の大半は当園の卒園児です。そのため、小学校教育に就学前教育をスムーズにつなげるために、当園では保育所は4歳児までの受入れとし、5歳になれば幼稚園で受入れ、園生活を共にしていました。</p> <p>小学校とスムーズにつなげるためには、幼稚園と保育所のつながりが必要ですが、近年では核家族化・共働き家庭の増加に伴い、①幼稚園の降園時間、②保育料の違い、③保育の連続性について、今まで通りに行うことが困難になってきました。</p> <p>当園は、戦後に寺を開放し、地域復興のために「地域の子ども達すべて」という思いで始めた幼稚園・保育所です。地域活性化のためにも地域ニーズに応え、0歳児から5歳児までの子育てシステムを新たに創らなければなりません。</p> <p>0才から5才（就学前）までの子ども達を一貫することで、延長・預かり保育の充実、給食・食育の推進、小学校との連携と、これまで以上に子ども・保護者・地域に安心・安全な子育て環境を提供できると考え、平成20年4月より幼保合築園舎の幼保連携型認定こども園となりました。</p>													
目指してきたもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども⇒「子ども集団の拡大」</li> <li>保護者⇒「親の就労により、子どもの園生活の環境を変えずにすむ」</li> <li>保育者⇒「子どもの保育という原点に還る」</li> </ul>	見えてきたもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの育ちの連続性（幼児教育の重要性、小学校との連携）</li> <li>子育て支援の重要性（公的機関・ボランティア等との子育てネットワークの構築）</li> <li>事務の煩雑さ（幼・保での保育料の違い等）</li> </ul>	 										
子育て支援	●地域子育て支援『ひまわりキッズ』… ・月水金（保健福祉センター）・火木（こども園） ●一時保育『にこにこサポート』													

# 大分県私立幼稚園連合会 政策振興委員会の取り組み

H18年10月  
「認定こども園法」  
の制定

H24年8月  
「子ども子育て関  
連3法」の制定

H27年4月  
「子ども・子育て支  
援新制度」施行

H16 ~ **新たな制度の勉強会の開催**

・保育制度改革への対応

H21 ~ **地区勉強会(幼児教育研修会)の開催**

・各市町村の行政担当者や市町村議員などを  
研修会に招き「市町村とのパイプ作り」

H23 ~ **市町村キャラバンの実施**

・私立幼稚園のある14市町村を巡り、各市町村  
長や教育長と面談

H25 ~ **地方版子ども・子育て会議への参加**

・私立幼稚園関係者がメンバーとして入り、幼児  
教育の重要性を発信

H25年5月 **大分県認定こども園連合会の設立**

・認定こども園の情報発信をするため、県内の全ての  
認定こども園を包括する団体を設立

**私立幼稚園の窓口が「県」から、「市町村」へ  
地域のニーズに基づいた計画の中での幼稚園の役割の発信**

# 大分県私立幼稚園連合会「市町村キャラバン」概要

- Ⅰ 目的： 幼児教育の振興  
市町村との関係構築  
私立幼稚園に対する市町村の理解促進  
地方版子ども・子育て会議への参画
- Ⅰ 対象市町村：県内15市町村
- Ⅰ 訪問時間：1回30分程度(現状説明10分 + 意見交換20分)
- Ⅰ 取組み実績：

	テーマ	訪問先
平成 23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園の取組みへの理解と活用</li> <li>・幼保一体化した行政窓口の設置</li> </ul>	宇佐市、中津市、日出町、国東市、臼杵市、津久見市、大分市、佐伯市、別府市、日田市、玖珠町、豊後大野市、竹田市
平成 24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園の幼児教育機能への理解と活用</li> <li>・認定こども園の活用</li> <li>・子ども・子育て新システム など</li> </ul>	国東市、日出町、別府市、宇佐市、佐伯市、臼杵市、津久見市、中津市
平成 25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども・子育て支援新制度</li> <li>・地方版子ども・子育て会議への参画 など</li> </ul>	日田市、佐伯市、別府市、日出町、国東市、豊後大野市、竹田市、宇佐市、津久見市
平成 26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1号認定の利用者負担</li> <li>・一時預かり事業(幼稚園型)</li> </ul>	日出町
平成 27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町村の子育て会議の状況</li> <li>・幼児期の教育・保育の重要性</li> </ul>	日国東市、日出町、宇佐市、中津市、津久見市、日田市 ( 予定含む)

# 大分県私立幼稚園連合会「市町村キャラバン」 ～平成23年・資料の主な内容～

陳情文ではなく、私立幼稚園の取組の理解と活用を説明。

## 1. 私立幼稚園のもつ幼児教育機能への理解と活用

- 1 私立幼稚園が行う幼児教育を十分ご理解いただき、子ども育ての拠点としての私立幼稚園の一層の活用についてご検討をお願いします。

## 2. 私立幼稚園のもつ機能の住民への情報提供

- 1 保護者から私立幼稚園の情報が少ない、また、相談先がわからないという声が多くありました。住民サービスの一環として広報紙等による私立幼稚園に関する情報提供のご検討をお願いします。
- 1 社会情勢の変化に伴い、私立幼稚園が果たすべき役割は多様化しています。とりわけ一時預かり保育や子育てに悩む保護者の相談をはじめ、子育て支援に関する機能は、施設、スタッフを含め、年々充実が図られています。子育て支援の観点から市(町)民への情報提供のご検討をお願いします。

## 3. 幼保を一体化した行政窓口の設置

- 1 保育所と幼稚園は地域における子育ての車の両輪です。少子化により子どもの数が減少していく中で、これからは保育所と幼稚園が役割を分担しながら地域のこども育てを担っていく必要がありますが、日田市で保育所と幼稚園を一体化した行政組織をつくり、成果を上げています。このような行政窓口の設置についてご検討をお願いします。